

## 建築確認手続きの円滑化に向けた 効果的取り組み事例について

全国の特定行政庁及び指定確認審査機関に対しアンケートを実施し、建築確認手続きの円滑化に向けた取り組み事例又は予定について調査を行いました。

### その結果

- ・法改正の内容の一般的な説明会にとどまらず、構造関係等にテーマをしぼった、さらに専門的な説明会の開催、審査実績等を踏まえた間違いやすい事例の配布、設計者と審査側の意見交換の実施
  - ・建築確認に関する相談窓口の設置、設計書をもとにした詳細なチェック(事前審査)の実施
  - ・構造計算適合性判定機関における事前相談の実施、補正等を求める際の設計者とのコミュニケーションの確保
  - ・設計者、建築主等への広報の実施
- 等について923事例の取り組みの報告がなされました。

主な効果的な取り組みとして、次のようなものがあげられています。参考にさせていただき、各特定行政庁、指定確認検査機関での円滑な建築確認のための取り組みの充実を図られますようよろしくお願いします。

### 1. きめ細かな説明会・講習会等の実施

- 構造計算適合性判定員や構造設計に関わる関係者を集め、技術に関する情報の共有や意見交換をするワークショップ(200人程度を8分科会の20~30人程度ずつ少人数のグループに分け、テーマを決めてディスカッションを行い、お互いの共通認識を醸成する)を開催。(予定)  
(千葉県)
- 設計者団体に対し、構造設計者同士の勉強の場を設けるよう促した上で、特定行政庁の職員が参加し、質疑応答・情報提供等を実施  
(旭川市)
- 一般的な建築基準法改正全般に関する講習会のほか、構造計算適合性判定員による運用実態、申請及び設計上の留意点等の情報提供を行うための専門的な講習会の実施(予定)  
(山梨県)